

働き方改革に向けた生保産業労使共同宣言

－ 国民生活の安定・向上に向けて 生保産業がさらなる役割発揮をしていくために －

一般社団法人 生命保険協会
全国生命保険労働組合連合会

- 少子高齢化の進行、地域コミュニティの希薄化、グローバル化の進行に伴う競争の激化など、日本社会を取り巻く環境が大きく変化する中、社会保障制度とともに国民の生活を支えるという、生保産業が果たすべき社会的役割はますます大きくなっている。その期待に一層応えていくためには、生保産業が労使一体となって、安心と働きがいをもって日々の仕事に邁進できる環境を整備し、産業に関わるすべての者がお客さまの立場に立って職務に取り組み、地域・社会に貢献していくことが不可欠である。
- 各々が、自らの頑張りや仲間との協働を通じて、生保産業に求められるプロフェッショナルとしての知見や創造性を発揮し、お客さまサービスや生産性を向上させることができれば、お客さまと地域・社会に一層貢献でき、仕事への意欲・モチベーションも更に高まる。また、労働力不足が深刻化する中においても、より魅力ある産業・企業づくりを進め、多くの人材を育てることができれば、生保産業の持続的・安定的な発展につながる。
働き方改革とは、労使一体となって、こうした好循環を創り出していくことに他ならない。
- 具体的に取り組むべき事項は多岐に及ぶ。各々の創造性や長所を伸ばし、お客さまサービスを向上させるに足りる教育や人材育成、女性や高齢者、パート・契約社員、LGBT、障がい者、外国人など多様な人材が活躍できる環境の整備、長時間労働への社会的な課題意識が高まる中でのワーク・ライフ・バランスの実現等である。ワーク・ライフ・バランスの実現に向けては、その重要性に対する労使の認識の共有が一層求められている。
これらは、これまでも生保産業・各社の労使が真摯かつ粘り強く取り組んできたものであるが、生保産業に対するお客さまからの要望や社会的要請、従業員からの期待・関心が一段と高まる中、これらの取組みを引続き推進し、更なる成果を得ていくことが求められている。
- 生保産業の力の源泉は、産業に関わる者一人ひとりにこそある。各々が置かれた状況や多様な価値観を認めあい、当該従業員が安心と働きがいのもてる環境整備をはかることが重要である。
私たち生保産業労使は、確固たる決意をもって、働き方改革に向け、今後も一層の取組みを推進していく。

以上